

「ファーストシューズ購入支援制度」の創設について

燕舞会における現役支援活動の一環として、部活動の活性化の源泉となる「新入部員の増加」を側面支援することを目的とした、「ファーストシューズ購入支援制度」の構築を提案します。

1 問題意識

燕舞会においては、これまでのフォーメーションドレスの製作やゼッケン・部旗の更新など、部活動に必要な用品のうち価格が嵩むものについて、現役からの要請に応じて会員からカンパを募り、支援を行ってきました。

また、関西開催となった夏の全日本戦の遠征費用のカンパを募ったこともあります。

これらの活動は、現役部員の経済的負担を軽減させる効果は認められますが、部活動の活性化やレベルアップに資するという観点には乏しいという問題点がありました。

2 ファーストシューズ購入支援を実施する意義

部員数が多くなると、部員間で切磋琢磨することで全体レベルの引き上げが期待されます。

最初に購入するシューズ代の一部を支援して入部へのハードルを引き下げることにより、競技ダンスに関心がありながらあと一歩が踏み出せない層の背中を押す効果が期待され、燕舞会が実施できる「新入部員増加」への側面支援策として有効ではないかと考えます。

3 新入部員の入部状況とファーストシューズの価格について

直近3年間の新入部員数とファーストシューズの価格は、おおむね以下の通りです。

現在燕舞会の予算で「現役支援」に計上しているのは10万円であり、2025年の水準が継続した場合は、現在の収支状況でファーストシューズ代の全額を負担することは困難です。

	2023年	2024年	2025年
新入部員数	10名	7名	18名
シューズの価格	男子 9,900円 女子 9,500円	10,000円	11,500円
経費概算	約10万円	約7万円	約21万円

4 支援の方向性

以上の状況を踏まえ、また、今後の新入部員増を見込んだ上で、新入部員に対して

1人当たり 5,000円

のファーストシューズ購入支援の実施を提案します。(新入部員20名分で総額10万円)

今後は、支援を受けた新入部員の定着状況などを見極めながら、支援の在り方について精査していくこととします。